

令和 7 年度
事業報告

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

I LOVE IWATE

岩手県国際交流協会

「令和 7 年度事業報告」目次

< 概要 >	1
< 事業活動 >	
1 地域に根ざした国際理解・交流の推進	3
2 多文化共生の地域づくり	9
3 次代を担う人づくり	22
< 管理部門 >	
1 評議員会・理事会等の開催状況	25
2 業務執行体制等	26
(1) 職員の状況	
(2) コンプライアンス体制及び職員研修	
(3) JICA国際協力推進員の配置	
3 寄附金及び賛助会員の状況	26
(1) 寄附金の受入れ	
(2) 賛助会員の入退会	

令和7年度事業報告

＜概 要＞

2025(令和7)年度は、令和元年度を初年度とする長期計画に基づき「地域に根ざした国際理解・交流の推進」、「多文化共生の地域づくり」及び「次代を担う人づくり」の3つの柱に沿って各種事業に取り組み、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に努めた。

本県の令和7年12月末の在留外国人数は12,526人と過去最高を更新するとともに初めて12千人を超えた。その国籍・地域別では、ベトナム、インドネシア、フィリピン、中国、ミャンマー、韓国・朝鮮、ネパールなど多様化している。

このように在留外国人が増加、多様化する中、各地域における国際化の推進や外国人受入体制の整備、外国人相談・情報提供等に取り組んだ。

「働く外国人支援プロジェクト、多文化共生地域づくりプロジェクト」では、外国籍を持つ県民や外国にルーツがある日本国籍を持つ県民（以下「外国人県民等」という。）が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身につけられるよう外国人県民へ学習機会の提供等を行うとともに、外国人県民相談・支援センターに外国人相談専門員を配置し外国人県民等の幅広い相談に対応した。

また、病院等へ同行支援を行う医療サポート通訳の研修や外国人県民等を対象とした医療相談会、災害時における外国人支援の研修など、外国人受入れの基盤となる体制の整備促進に努めた。

「グローバル人材育成プロジェクト」及び「外国人留学生等就職活動支援プロジェクト」では、大学生等の海外留学を支援するとともに、グローバルキャリアフェアの実施など外国人留学生等の高度人材の県内就職の支援などに取り組んだ。

なお、各プロジェクト推進に係る会議、研修、セミナー等の実施に当たっては、必要に応じてオンラインでの参加を可能とした。

3つの柱と4つのプロジェクトにおける主な事業実施の概要は、次のとおりである。

1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

＜長期ビジョン関連プロジェクト＞

○多文化共生の地域づくり〈ダイバーシティ〉プロジェクト

市町村、市町村国際交流協会職員等を対象とした地域国際化人材育成研修を開催するとともに、市町村、市町村国際交流協会等との連携推進を図るため、地域国際化推進会議や国際交流関係団体連絡会議を開催した。

また、いわて国際化人材の登録・活用やホストファミリーの登録・活用等の取組を行うとともに、多言語のホームページや国際交流情報紙等により、イベント情報や生活情報、国際交流団体の活動情報等を発信した。

県の国際交流センターの管理運営では、展示コーナーを活用した様々な企画展示を行うなど、センター利用の拡大に努めた。

また、国際交流団体等の活動支援助成を行うとともに、国際交流関係団体等との共催事業では、JICA東北等との共催で「災害時の外国人支援セミナー」を開催した。

2 多文化共生の地域づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○働く外国人支援プロジェクト

○多文化共生の地域づくり(ダイバーシティ)プロジェクト

外国人との交流会や「2025ワン・ワールド・フェスタinいわて」を開催し、外国人県民等と連携・協働により国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に普及啓発を図った。

また、グローバルな課題解決に向けての意識啓発等を図るための「身近な国際協力〜フェアトレード」を実施した。

地域日本語教育推進事業では、外国人県民等が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身に付けられるよう、日本語教室空白地域における教室開設促進やオンラインによる日本語学習講座の実施による学習機会の提供等を行った。

「いわて外国人県民相談・支援センター」の運営では、中国語、ベトナム語、英語及び韓国語の専門相談員を配置し、在留資格などの行政手続や医療、福祉、家庭内の問題等幅広い相談に対応するとともに、岩手県行政書士会及び岩手弁護士会と連携し無料相談を行った。

また、電話通訳等による多言語相談サポート・支援や医療サポート通訳研修会、外国人医療相談会などの取組を行った。

いわて災害時外国人支援体制の構築では、盛岡国際交流協会(盛岡市文化国際課)との協働で外国人避難者受入にかかる連携訓練を実施するとともに、岩手県総合防災訓練での避難所外国人受入訓練等への参加や災害時の外国人支援の研修等を行った。

また、外国人労働者受入体制推進事業では、市町村や市町村国際交流協会等との連携により、外国人労働者と地域住民との交流機会を創出し、外国人労働者が地域で活躍できる地域づくりを進めた。

3 次代を担う人づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○グローバル人材育成プロジェクト

○外国人留学生等就職活動支援プロジェクト

「いわてグローバル人材育成推進協議会」では、海外研修及び県内企業でのインターンシップの経験を活かして、地域に貢献する「グローバル人材」の育成に努めることとしており、海外派遣では、6人の学生の海外留学を支援した。

また、外国人青年や外国人留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するキャリアフェア、インターンシップ、企業訪問等を実施し、県内への就職・定着の支援に努めた。

＜事業活動＞

1 地域に根ざした国際理解・交流の推進

注)各施策の番号は“いわてビジョン2019”の施策番号に対応。

①施策１－１ 地域国際化人材育成研修の実施（県補助）

地域の国際化、多文化共生を担う人材を育成するため、市町村及び市町村国際交流協会職員等を対象に、国際交流・多文化共生の現状と課題、外国人に関わる諸制度等、国際交流・多文化共生に係る基礎的知識について学ぶ研修会を開催した。

第1回

日時・会場	令和7年6月19日(木)13:30～15:00・Zoom ミーティング
プログラム	知っておきたいイスラーム ～増え始めているムスリムの方のこと 知らなければならないこと～
講師	(特非)千葉イスラーム文化センター 理事長 杉本恭一郎氏
参加者数	39名(動画再生数17回)

第2回

日時・会場	令和 7 年 6 月 25 日(水)13:30~15:00/アイーナ 団体活動室 2・3 6 月 26 日(木)13:30~15:00/大船渡地区合同庁舎 大会議室
プログラム	外国人への対応 ～在住外国人の背景とコミュニケーション～
講師	行政書士／岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波大吾氏
参加者数	盛岡／17 名、大船渡／11 名

第3回

日時・会場	令和 7 年 7 月 2 日(水)13：30～15：00/北上地区合同庁舎 大会議室 7 月 3 日(木)13：30～15：00/二戸地区合同庁舎 大会議室
プログラム	在留資格からみえる在住外国人 ～外国人の採用・転職～
講師	岩手県行政書士会 会長 行政書士 横山 勝 氏
参加者数	北上／11 名、二戸／3 名

(第1回 オンライン(Zoom)による杉本理事長による講話)



②施策１－２ 地域国際化推進会議の開催

県との共催により、市町村及び市町村国際交流協会が地域における多文化共生・国際化推進の観点から、課題の共有や連携を強化し、取組の活性化を図るための会議を開催した。

(実施状況)

盛岡広域振興圏	日時	令和 7 年 5 月 20 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00
	場所	アイーナ 会議室501
	参加者	7 市町、5 協会、1 広域局 13 人
県南広域振興圏	日時	令和 7 年 5 月 22 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 00
	場所	奥州地区合同庁舎 分庁舎 大会議室
	参加者	5 市町、6 協会、1 広域局 18 人
沿岸広域振興圏	日時	令和 7 年 5 月 18 日 (水) 13 : 30 ~ 15 : 00
	場所	釜石地区合同庁舎 大会議室
	参加者	5 市町、4 協会、1 広域局 19 人
県北広域振興圏	日時	令和 7 年 5 月 27 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00
	場所	久慈地区合同庁舎 健康増進室
	参加者	5 市町、4 協会、1 広域局 12 人

(盛岡広域圏 会議の様子)



③施策２－１(施策15) いわて国際化人材の登録・活用

通訳・翻訳や文化紹介等多様な分野で対応できる方々（外国人県民等を含む）を登録し、通訳や国際理解講座などの講師紹介依頼があった際に紹介を行った。

- ・登録者 個人322人、団体 3 団体、依頼件数35件、活用件数24件、キャンセル 6 件
(前年度 個人311人、団体 3 団体、依頼件数38件、活用件数36件、キャンセル 2 件)

④施策２－２ ホストファミリーの登録・活用

中国雲南省の青少年訪問団受入れ事業を実施している岩手県をはじめとして、教育機関や国際交流団体から依頼があった際、ホストファミリー登録者への情報提供を行った。

- ・登録者70家庭、活用 3 件（前年度登録69家庭）

⑤施策３－１(施策13、14、16、22) 多言語ホームページによる情報提供

ホームページ、フェイスブック、X（旧ツイッター）を通じて日本語、英語及び中国語で各種情報提供を行った。

- ・ホームページの来訪者数 **2,201,489**件（前年度232,869件）
- ・ホームページ情報提供件数 266件（前年度291件）
- ・SNS、メーリングリスト情報提供件数 216件（前年度197件）

⑥施策３－２ 多言語の国際交流情報紙の発行

日本語、英語及び中国語の国際交流情報紙を年４回発行した。

・発行部数 2,500部／回 合計10,000部



発行	特集
2025/6（夏号）	令和７年度岩手県国際交流協会の取組
2025/9（秋号）	秋の国際交流News！
2025/12（冬号）	岩手県国際交流協会 イベントレポート
2026/3（春号）	① R7年度岩手県国際交流協会主要事業実施状況 ② いわて留学生大使座談会

⑦施策３－３ 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

外国語も含めた蔵書やビデオ・DVDの教材等、国際交流関連の情報の収集・提供を行った。

- ・蔵書等のデータベース登録 6,800冊（前年度6,779冊）
- ・資料収集国 190か国（前年度190か国）
- ・国別ボックス 33箱/57か国（前年度33箱/57か国）
- ・民族衣装 27か国/77セット（前年度27か国/77セット）

⑧施策３－４ いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの運用

県内各地で国際交流・国際協力、多文化共生の効果的・効率的な取組を進めるための情報の共有や活用を図ることを目的として、リソースバンクを運用した。前年度の情報掲載以降の県内各市町村・市町村国際交流協会等の開催イベント、情報紙などの情報ファイルを追加掲載するとともに、外国人支援に役立つ情報を提供した。

- ・アクセス件数 23,284件（前年度16,813件）
- ・掲載サイト <https://www.iwate-resource-bank.jp/>

⑨施策４－１ 国際交流センターの運営（県委託等）

岩手県から委託を受けて、国際交流センターにスタッフ５名を配置し、国際交流や多文化共生に係る情報提供、県民と外国人との交流を図る国際交流・国際協力活動等の拠点施設としてセンター利用者への対応等を行った。

- ・来館者数 144,949人（前年度 142,448人）
- ・ホームページアクセス件数 2,201,489件（前年度 232,869件）
- ・情報提供件数 1,172件（前年度 1,233件）

⑩施策４－２ 国際交流センター内の企画展示

展示コーナーを活用し、年間を通じて時宜をとらえた各種企画展示を行った。

	期 間	テーマ
1	常設展示	世界の楽器
2	5/3(土)～7/21(月)	中国雲南省と岩手県の繋がり
3	7/26(土)～9/15(月)	フェアトレードってなあに？
4	10/8(水)～11/14(金)	ワン・ワールド・フェスタ関連クイズ展示
5	1/31(土)～3/30(月)	ちょっとのぞくJICA海外協力隊の活動と暮らし

⑪施策５－１ 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流関係団体の活動活発化に向けた意見交換、情報交換を行った。

- ・開催日 令和８年２月13日(金)
- ・会 場 キオクシア アイーナ 会議室501及びオンライン
- ・内 容 令和８年度岩手県国際交流協会事業予定の説明、岩手県の取組の説明及び各団体の活動状況等に係る意見交換
- ・参加者 36団体44人（前年度29団体36人）



国際交流関係団体連絡会議登録団体数（令和7年度末時点）109団体（前年度115団体）

分 野	団体数
国際理解	12
国際協力	6
日本語教室	5
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	14
経済・観光	7
二カ国間交流	26
市町村・一般	26

⑫施策５－２ 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等及び市町村国際交流協会が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動や事業に要する経費の一部を助成した。

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
ア 国際交流団体等 ・助成数 1件、助成総額 55千円（前年度 4件、助成総額 242千円）		
滝沢ユネスコ協会市民文化講演会及び 滝沢ユネスコ協会設立10周年記念事業	滝沢ユネスコ協会	55,000円 (111,362円)
イ 市町村国際交流協会 ・助成数 2件、助成総額 188千円（前年度 4件、助成総額 337千円）		
かねがさきDEハロウィン祭2025	金ケ崎町国際交流協会	100,000円 (157,602円)
国際理解講座『ここにおいでよ！』	釜石市国際交流協会	88,000円 (124,717円)
ウ 日本語教室 ・助成数 5件、助成総額 291千円（前年度 4件、助成総額 181千円）		
日本語教室	金ケ崎町国際交流協会	48,000円 (60,000円)
岩手町国際交流協会 日本語サロン	(特非)岩手町国際交流協会	80,000円 (148,331円)
いわて＊多文化子どもの教室 むつみっこくらぶ 日本語教室	いわて＊多文化子どもの教室 むつみっこくらぶ	18,000円 (23,162円)
「にほんご交流カフェ」事業	大船渡市国際交流協会	65,000円 (91,814円)
外国人児童日本語支援事業 @北上にほんご教室	(一社)北上市国際交流協会	80,000円 (109,525円)
【 計 】 ・助成数 8件、助成総額 534千円（前年度 12件、助成総額 760千円）		

⑬施策６（施策29－２） 国際交流関係団体等との共催事業の実施

○ 災害時の外国人支援セミナー～災害発生時、どのような支援が必要か 大船渡山林火災を事例として～

岩手で働く外国人が増加していること、また外国人は「文化や食習慣の違い」等から災害時に困難を抱える場合があることについて認識を広めるとともに、災害時の外国人支援としてどのようなことが必要なのか考える契機とするため、JICA 東北等と共催でセミナーを開催した。

- ・日時 令和7年9月4日(木)
- ・会場 アイーナ5階 会議室501（オンラインとのハイブリッド開催）
- ・共催 JICA ボランティアを支援するいわての会、JICA 東北、岩手県国際交流協会
- ・後援 岩手県
- ・参加 約90名

- ・ 内容 災害時、外国人材が置かれる状況や課題について
（JICA 国内事業部市民参加推進課長 松本 秀亮 氏）
山林火災発生に伴う「外国人従業員」の避難生活支援
（マルカツ水産社長 佐々木 晶生 氏）
災害発生時、どのように感じ、どのように対応したか
（マルカツ水産勤務 フセン氏 インドネシア出身）
登壇者によるパネルディスカッション
（パネルディスカッションの様子）



2 多文化共生の地域づくり

①施策 8-1 外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生等との協働企画により、定期的に外国人との交流会を開設し、参加者の拡大に努めた。

- ・開催回 6回、参加者 延べ201人
(前年度 9回、参加者 延べ528人)



	開催日	タイトル	参加人数
1	令和 7 年 5 月 24 日 (土)	アメリカと日本のキャラクター文化紹介	21人
2	令和 7 年 7 月 20 日 (日)	中国 (雲南省) KIDS IN いわて	57人
3	令和 7 年 8 月 23 日 (土)	エジプト文化紹介	32人
4	令和 7 年 10 月 13 日 (月)	レッツ ゴー キャンピング	40人
5	令和 7 年 12 月 20 日 (土)	みんなで楽しむクリスマス交流会	34人
6	令和 7 年 2 月 21 日 (土)	国際母語の日 多言語にふれて楽しもう	17人
	合 計		201人

②施策 8-2 「2025ワン・ワールド・フェスタinいわて」の開催

海外在住を含む外国人と連携・協働して国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に啓発普及を図る「2025ワン・ワールド・フェスタinいわて」を開催した。

- ・開催日 令和 7 年 11 月 16 日 (日)
- ・会 場 キオクシア アイーナ 4 階、5 階
- ・参 加 延べ4,717人 (前年度3,865人)
- ・内 容 ワールドエリアでは、28か国・地域からの外国出身者や多くのボランティアの協力により32ブースを設置。自国の紹介をはじめ、伝統的な遊びやゲーム、クラフト作りなどの体験、民族衣装の試着、食文化の紹介や菓子の試食などを行った。その他、キッズワールド、関係団体ブース、開催20回を記念した動画の上映や抽選会、岩手県南米派遣者による派遣報告会などを実施した。



③施策 9-4 「身近な国際協力～フェアトレード～」の実施

独立行政法人国際協力機構 東北センター（JICA東北）との共催で、親子を対象とした、フェアトレードの理解促進のためのイベントを開催した。

- ・ 名称 夏休みの自由研究 どこでだれが作っているの？
～バナナとコットンから学ぶフェアトレード～
- ・ 日時 令和 7 年 8 月 2 日（土） 13：00～15：00
- ・ 会場 アイーナ 5 階 会議室 501
- ・ 協力 田澤洋紙店（盛岡市）
- ・ 内容 フェアトレードの「コットン」と、「バナナを使った紙」についての理解と、バナナペーパーを使ったクラフト作り
- ・ 参加者数 7 名

④施策 11 地域日本語教育推進事業（県委託）

地域の一員として、外国人が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身に付けられるよう、県内の日本語学習環境の整備を行うことを目的とし、岩手地域日本語教育コーディネーターを中心に、日本語教育の新たな担い手の掘り起こし、教育人材のスキルアップを目的とした研修、日本語教室空白地域における教室開設の促進、外国人県民へ学習機会の提供等を行った。

ア いわて地域日本語教育推進会議の運営

本県における日本語教育支援に関する取組を総合的かつ効果的に推進するため、外国人支援に関係する団体・機関から構成される会議を運営し、本県の日本語教育施策の検討や情報共有を行うため実施した。

【第 1 回】令和 7 年 6 月 6 日（金）13 時 30 分～15 時 00 分

- ・ 場 所： いわて県民情報交流センター（アイーナ）8 階 研修室 811
- ・ 出席者数： 19 名

【第 2 回】令和 7 年 11 月 17 日（月）15 時 30 分～17 時 00 分

- ・ 場 所： 盛岡地区合同庁舎 8 階 大会議室
- ・ 出席者数： 17 名

イ 地域へのアウトリーチ支援等

岩手地域日本語教育コーディネーター等の有識者と連携し、地域（市町村、市町村国際交流協会）や日本語教室等へ巡回を行い、そこで得た課題やニーズにあわせて日本語教育に関する柔軟な支援や情報提供を行った。また、日本語教育人材の掘り起こしやスキルアップを図るブラッシュアップ講座、情報交換やネットワークづくりの場としての交流会を開催した。

(ア) 日本語教育に関する地域巡回・相談対応

巡回訪問・相談対応件数：33 件

大船渡市国際交流協会、一関市国際交流協会、紫波町国際交流協会、一関市国際交流協会日本語教室、釜石日本語教室「桜会」、にほんご交流カフェ（大船渡市）、陸前高田市日本語教室、日本語教室「さくら」（宮古市）、二戸市日本語教室、紫波町日本語教室、北上市生活の日本語教室、二戸市まちづくり課、八幡平市市民部まちづくり推進課地域振興係、久慈市総務部総務課行政文書係、一関市まちづくり推進部交流推進課、田野畑村教育委員会事務局、大槌町産業振興課

商工観光係、大槌町移住定住事務局、住田町企画財政課企画調査係、北上市まちづくり部地域づくり課、大船渡市商工港湾部観光交流推進室



(イ) 日本語教育人材向け研修

a 二戸市日本語教室国際交流サポーター研修

- ・日 時：令和7年8月28日（木）18時30分～20時00分
- ・場 所：二戸市役所 1階会議室
- ・講 師：岩手地域日本語教育コーディネーター 柿本仁美 氏
- ・対 象：二戸市日本語教室国際交流サポーター
- ・内 容：会話活動のスキルアップ
- ・参加者数：6名

b 日本語学習支援者交流会in沿岸

- ・日 時：令和7年9月7日（日）13時30分～15時30分
- ・場 所：釜石市青葉ビル 研修室1・2
- ・ファシリテーター：岩手地域日本語教育コーディネーター
嶺岸玲子 氏、藤波大吾 氏、柿本仁美 氏
- ・対 象：当協会の日本語サポーター、地域日本語教室で活動している方、県内市町村・市町村国際交流協会日本語教育担当者等
- ・内 容：日本語教室の取組紹介、参加者同士の情報交換・情報共有
- ・参加者数：19名

c 紫波町日本語教室日本語サポーター研修

- ・日 時：令和7年9月27日（土）10時00分～11時30分
- ・場 所：（一社）紫波町観光交流協会 事務所
- ・講 師：岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波大吾 氏
- ・対 象：紫波町日本語教室日本語サポーター
- ・内 容：学習者との対話を通じた活動について
- ・参加者数：3名

d 日本語学習支援者向けブラッシュアップ講座

- ・講 師：岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸玲子 氏
- ・対 象：県内日本語教室で活動している方、当協会日本語サポーター、日本語教師、外国人への日本語学習支援に携わっている方等

【第1回】令和7年12月20日（土）9時30分～11時30分

- ・場 所：キオクシア アイーナ5階 会議室501B
- ・内 容：日本語教材の使い方「にほんご これだけ！」
- ・参加者数：23名

【第2回】令和8年1月10日（土）9時30分～11時30分

- ・場 所：キオクシア アイーナ7階 会議室703
- ・内 容：日本語教材の使い方「いろどり 生活の日本語」
- ・参加者数：22名

【第3回】令和8年1月24日（土）9時30分～11時30分

- ・場 所：キオクシア アイーナ6階 団体活動室2
- ・内 容：日本語教材の使い方「“いわて”をはなそう」等
- ・参加者数：15名

e 日本語学習支援者交流会

- ・日 時：令和8年1月24日（日）13時00分～16時00分
- ・場 所：キオクシア アイーナ6階 団体活動室1
- ・講話講師：岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸玲子 氏
- ・ファシリテーター：岩手地域日本語教育コーディネーター
嶺岸玲子 氏、藤波大吾 氏、柿本仁美 氏
岩手地域日本語教育コーディネーター候補 高坂あゆみ 氏
- ・対 象：県内日本語教室で活動している方、当協会の日本語サポーター、県内市町村・市町村国際交流協会日本語教育担当者等
- ・内 容：①日本語学習支援に関する講話「学習者のニーズを見つける」
②日本語教室の取組紹介 ③参加者同士の情報交換・情報共有
- ・参加者数：18名



(ウ) 日本語教室開設サポート

a 新規開設サポート（一関市国際交流協会への支援）

令和8年度開設予定の子ども対象の日本語教室について、ボランティア研修会や講師紹介、教材の紹介等を行った。

「子どものための日本語教室」ボランティア養成研修会

【第1回】令和8年2月7日（土）10時00分～11時30分

- ・場 所：なのはなプラザ3階 大会議室
- ・講 師：岩手大学国際教育センター 准教授 秋葉多佳子 氏
- ・内 容：「大人と子どもの日本語教育ってどうちがうの？」
- ・参加者数：38名

【第2回】令和8年2月14日（土）10時00分～12時00分

- ・場 所：なのはなプラザ3階 大会議室
- ・講 師：岩手大学副学長兼国際教育センター長 教授 松岡洋子 氏
いわて*多文化子どもの教室むつみこくらぶ 代表 村井好子 氏
- ・内 容：「子どもの日本語教室って何をするの？」

- ・参加者数：35名

b 日本語教室立上げ後の継続支援（紫波町国際交流協会への支援）

令和6年度に開設した日本語教室の継続支援を行うため、地域日本語教育コーディネーターを派遣し、サポーター研修や相談対応等を行った。

- ・令和7年7月13日（日） 紫波町日本語教室への巡回訪問
- ・令和7年9月27日（土） 紫波町日本語教室日本語サポーター研修
- ・令和8年1月17日（土） 紫波町日本語教室への巡回訪問
- ・令和8年2月14日（土） 紫波町日本語教室への巡回訪問

c 日本語教室空白地域への巡回訪問

空白地域のうち5市町村を対象に総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターが訪問を行い、多文化共生や日本語教育等に関する実態調査・意識啓発を行った。

- ・令和7年10月3日（金） 八幡平市市民部まちづくり推進課地域振興係
- ・令和7年11月10日（月） 久慈市総務部総務課行政文書係
- ・令和7年12月19日（金） 田野畑村教育委員会事務局
- ・令和7年12月23日（火） 大槌町産業振興課商工観光係
- ・令和8年1月21日（水） 住田町企画財政課企画調査係

d 外部団体研修への講師紹介

- ・陸前高田市日本語教室 ※陸前高田市国際交流協会自主事業

陸前高田市日本語教室で活動している方を対象としたフォローアップ研修の講師として、藤波大吾コーディネーターを紹介した。

- ・北上市日本語教室パートナー養成研修会 ※北上市自主事業

新規開設する北上市日本語教室での活動を希望する方を対象とした研修の講師として、岩手地域日本語教育コーディネーター（藤波大吾氏、柿本仁美氏、嶺岸玲子氏）を紹介した。

- ・一関市国際交流協会 ※一関市国際交流協会自主事業

（一関市国際交流協会日本語教室日本語ボランティア養成講座）

一関市国際交流協会日本語教室での活動を希望する方を対象としたボランティア養成講座の講師として、藤波大吾コーディネーターを紹介した。

（「子どものための日本語教室」ボランティア養成研修会 ※再掲）

外国人児童生徒等の支援に関心のある方を対象としたボランティア養成講座の講師として、有識者を紹介した。

岩手大学国際教育センター 准教授 秋葉多佳子 氏

岩手大学副学長兼国際教育センター長 教授 松岡洋子 氏

いわて*多文化子どもの教室 むつみつこくらぶ 代表 村井好子 氏

(エ) 外部団体セミナーとの連携

a 陸前高田市「多文化共生セミナー」

多文化共生セミナーにて、日本語教育関連事業について、取組紹介・情報提供を行った。（主催者：陸前高田市）

- ・日 時：令和8年2月9日（月）14時00分～15時45分
- ・場 所：陸前高田市役所5階 会議室
- ・参加者数：41名（うちオンライン参加者28名） ※申込時点

ウ オンライン日本語学習講座

居住地域に日本語学習の環境がない外国人県民、より多くの学習機会を求める外国人県民へ学習機会を提供するため、オンラインでの学習講座を開催した。

- ・方 法：オンライン形式（Zoom）
- ・内 容：ひらがな・カタカナ

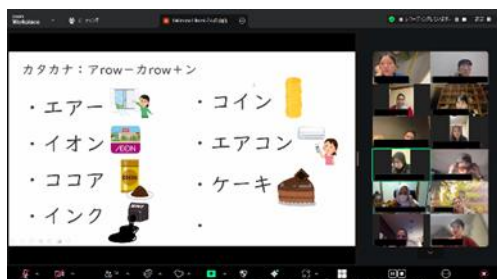
地域の日本語教室や日本語学習支援者との活動につなげられるまでの、生活に必要な最低限の会話のための基礎的な学習項目（「日本語教育の参照枠」A1レベル前半）の習得

（ア）前期（全18回）

- ・日 時：令和7年7月7日（月）～令和7年10月15日（水）（8/13を除く）
- ・受講者数：9名（うち、修了者6名）

（イ）後期（全18回）

- ・日 時：令和7年11月4日（火）～令和8年2月10日（火）（12/30を除く）
- ・受講者数：12名（うち、修了者9名）



エ 地域日本語教育コーディネーター候補の育成

地域日本語教育コーディネーターとしての役割を担える人材の確保・育成を図るため、候補となる人材に対し文部科学省の主催する研修への参加や、オンライン日本語学習講座の講師を務める機会を提供した。

⑤施策12(施策20) 日本語サポーターの登録と活用

日本語サポーターの登録と活用により、外国人県民等のニーズに対応した日本語学習を支援した。

- ・登録者 102人（前年度148人）、うち有資格者等登録者24人
- ・個人依頼件数41件、成立32件、不成立：1件、キャンセル：4件、調整中：4件（前年度：依頼件数51件、成立49件）
- ・企業・団体依頼件数0件、成立0件

⑥施策15-2 医療サポート通訳研修会の開催(県補助)

外国人県民等が安心して医療機関を受診できる環境づくりを図るため、病院等へ同行支援を行う医療サポート通訳のすそ野を広げる研修会を開催した。

ア 医療サポート通訳入門研修会

- ・日時 令和7年10月5日（日） 10:00～12:00
- ・会場 キオクシア アイーナ6階 団体活動室1
- ・講師 （特非）SEMI さっぼろ 北間砂織 氏、富田まゆ子 氏
星野ルーカス光紀 氏、Scalett Bangley 氏

- ・内容 医療サポート通訳概要、英語通訳ロールプレイ
- ・受講者 13名

イ 医療サポート通訳スキルアップ研修会

- ・日時 令和7年10月4日(土) 14:30～16:30
- ・会場 キオクシア アイーナ6階 団体活動室1
- ・講師 (特非)SEMI さっぽろ 北間砂織氏、富田まゆ子氏
- ・文化紹介ゲスト MUNIA NADIA PARVIN 氏(バングラデシュ出身)
- ・内容 スキル研修(ノート・テイキング、サイトトランスレーション)
海外の医療制度・文化レクチャー
- ・受講者 8名

⑦施策17 いわて外国人県民相談・支援センターの運営(県委託)

外国人県民等が安心して生活できるよう、在留資格などの行政手続、日本語学習・医療・福祉・子育て・家庭内の問題に関することなど、幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置し外国人相談専門員を配置するとともに、関係機関とのネットワーク形成を図る連絡会議等を開催した。

ア 相談窓口の設置

相談窓口において生活上の問題をはじめとした幅広い相談へ対応した。

- ・相談件数 653件(前年度 609件)(相談専門員による相談、地域巡回相談、外国人専門相談員における相談件数を含む。)

(相談内容の内訳)

年 度	日本語 学 習	住 居	教 育	医療・保 健・福祉	行 政 手 続	その他	合計
令和7年度	77	13	31	48	159	325	653
令和6年度	73	17	28	37	157	297	609
令和5年度	38	9	17	67	177	291	599

イ 相談専門員等の配置

- ・相談マネージャー(1人)
- ・外国人相談・支援専門員(1人)
- ・外国人相談専門員(中国語1人、韓国語1人、英語1人、ベトナム語1人)

ウ 関係機関との連携

(7) 外国人材受入拡大に係る関係機関連絡会議(開催協力)

i 関係機関連絡会議

- ・日時 令和8年1月22日(木) 13:30～15:30
- ・場所 いわて県民情報交流センター(キオクシア アイーナ)6階 団体活動室2・3
- ・出席団体 7団体、13人

ii 外国人材確保、活用、定着支援に関する勉強会

- ・日時 令和7年12月25日(月) 9:30～11:15
- ・場所 盛岡合同庁舎8階 大会議室
- ・出席団体 県庁関係各部10室課、17人

(4) 仙台出入国在留管理局による相談会の開催

i 仕事と在留資格に関する無料相談会(岩手労働局との共催)

- ・日時 令和7年7月23日(水)

- ・会場 いわて県民情報交流センター(アイーナ)5階 国際交流センター
- ・相談件数 6件(県内の外国人、外国人の雇用等に関わる事業者等)
- ii 相談会
 - (宮古市会場：宮古市、宮古市国際交流協会との共催)
 - ・日時 令和7年12月11日(木)
 - ・会場 イーストピアみやこ交流センター
 - ・相談件数 2件(地域巡回)
 - (一関市会場：一関市、市国際交流協会との共催)
 - ・日時 令和8年2月6日(金)
 - ・会場 一関市大町なのはなプラザ
 - ・相談件数 3件(地域巡回)
- (ウ) 会議等への参加
 - i 岩手県社会福祉士会盛岡ブロック研修会
 - ・主催 岩手県社会福祉士会(盛岡ブロック)
 - ・日時 令和7年8月30日(土) 14:00~15:30
 - ・会場 アイーナ(802会議室)
 - ・内容 外国人への対応~在住外国人の背景とコミュニケーション(説明)
 - ii 岩手弁護士会国際委員会との意見交換会
 - ・主催 岩手弁護士会国際委員会との共同開催
 - ・日時 令和7年7月10日(水) 15:00~16:15
 - ・会場 アイーナ(ミーティングルーム)
 - ・内容 弁護士相談会の改善案等、在留外国人の現状と相談事例等情報交換
 - iii 外国人材活用セミナー
 - ・主催 岩手県中小企業団体中央会
 - ・日時 令和7年12月10日(金) 13:30~16:10
 - ・会場 アートホテル盛岡
 - ・内容 改正入管法及び育成就労に関する最新動向ほか
 - iv 令和7年度外国人一元的相談窓口相談員等意見交換会(オンライン会議)
 - ・主催 仙台出入国在留管理局
 - ・日時 令和8年1月14日(水) 13:30~15:00
 - ・会場 オンライン参加
 - ・内容 (説明事項) 出入国在留管理庁の取組について ほか
(意見交換) 日本語教室に関する相談・要請、多言語通訳 ほか
 - v その他(関係機関・団体との意見交換会等実施)
 - 日本年金機構盛岡年金事務所との意見交換 令和7年6月11日(水)
 - 岩手行政監視行政相談センターとの情報交換会 令和7年6月25日(水)
 - 岩手県長寿社会課との意見交換会 令和8年1月29日(木) ほか
- (エ) 研修兼意見交換会の開催
 - 外国人相談窓口担当者研修会
 - ・日時 令和8年2月25日(水) 13:30~15:00
 - ・会場 ワーキングルーム/オンライン(Zoom)
 - ・出席者 相談支援センター相談員等6名、市町村・市町村協会相談窓口担当

者等 6 名

- ・内容 第 1 部 講義 「相談対応時の心構えと青少年の対応時の注意点」

講師 社会福祉士・精神保健福祉士 加東 恵 氏

第 2 部 意見交換会 各相談窓口の対応状況について情報交換等

エ 電話通訳等による多言語相談サポート・支援

- ・受託業者 メディフォン(株)
- ・言語 32言語
- ・活用 17件／383分



⑧施策18 地域巡回相談

相談マネージャー及び外国人相談・支援専門員等が、外国人を雇用する企業や関係機関・団体、日本語教室、市町村国際交流協会等を訪問し、外国人労働者等の状況や支援の課題等について聞き取り及び情報提供等を行った。

- ・巡回件数 37件（前年度 37件）

⑨施策19 外国人定期相談日

岩手県行政書士会及び岩手弁護士会と連携し、無料相談日を開設した。

ア 岩手県行政書士会と連携した相談日

開設数 24回 相談件数 42件（前年度：24回、30件）

イ 岩手弁護士会と連携した相談日

開設数 4回 相談件数 12件（前年度：5回、8件）

⑩施策20 外国人児童生徒の教育支援

県教育委員会が策定した外国人児童生徒等教育基本方針を周知するとともに、県・市町村教育委員会等との連絡調整や外国人児童生徒の受入に係る相談対応を行った。

⑪施策21 外国人患者受入体制構築事業（県補助）

外国人県民等が抱える健康面での不安や悩みの解決に向けて、医療機関等と連携を取りながら医療相談会を開催し、医療面での不安の解消に取り組んだ。

- ・名称 2025 外国人医療相談会
- ・協働 Espeyulo、岩手県民主医療機関連合会
- ・協賛 盛岡医療生活協同組合 川久保病院

ア 事前問診

(ア) 盛岡会場

- ・日時 令和 7 年 11 月 2 日(日)13:00～15:00
- ・会場 On Line、キオクシア アイーナ 5 階 国際交流センター内
- ・事前問診参加者 23 人(対面 4 人、オンライン 19 人 中国 2 人、バングラデシュ 20 人、ベトナム 1 人)

(イ) 一関会場

- ・日時 令和7年11月22日(土)9:30～13:30
- ・会場 なのはなプラザ 4F 会議室
- ・事前問診参加者 9人(対面)

イ 健康診断・医療相談会

- ・日時 令和7年11月22日(土) 9:30～13:30
- ・会場 川久保病院
- ・対応言語 中国語、ベトナム語、英語及び日本語
- ・内容 健康診断、医療相談
- ・受診者 26人／申込者数 34人



(中国4人、バングラデシュ8人、ベトナム1人、フィリピン13人)

- ・対応人員 24人(川久保病院等17人、当協会等7人)

⑫施策23 いわて災害時外国人支援体制の構築（県委託）

災害時における外国人に対応した支援体制を構築するため、災害時の外国人対応等についての研修会、実践訓練等を実施した。

ア 災害時多言語支援窓口の設置・運営

(ア) 外国人避難者対応訓練

- ・日時 令和7年12月14日(日) 13:00～14:30
- ・会場 キオクシア アイーナ 会議室501
- ・内容 盛岡国際交流協会(盛岡市文化国際課)との協働での、キオクシア アイーナの避難所開設時の外国人避難者受入にかかる連携訓練の実施
- ・参加者 31名

(イ) 岩手県総合防災訓練での災害時多言語支援窓口連携訓練

- ・日時 令和7年11月8日(土) 9:00～11:00
- ・会場 キオクシア アイーナ 事務室内
- ・内容 岩手県総合防災訓練において、釜石市立釜石東中学校(避難所)での外国人対応訓練と災害時多言語窓口との連携による相談・通訳訓練の実施。
- ・参加者 4名(相談支援センター担当者・相談員等)

イ 岩手県総合防災訓練への参加・協力

(ア) 避難所の外国人等受入れ訓練

- ・日時 令和7年11月8日(土) 9:00～11:00
- ・場所 釜石市立釜石東中学校 第一体育館
- ・実施協力 釜石市国際交流室、釜石市国際交流協会、釜石トレデュニオン
- ・参加者 訓練参加者 11名(外国人協力者4名、当協会職員2名、釜石市国際交流室1名、釜石市国際交流協会・釜石トレデュニオン4名)

(イ) 救急・救助訓練等への協力

- ・日時 令和7年11月8日(土) 9:30～11:30
- ・場所 サンデー釜石港町店駐車場
- ・内容 消防による救急・救助訓練、多言語対応訓練への参加協力
- ・実施協力 釜石市国際交流室、釜石市国際外語大学

- ・参 加 者：訓練参加者 7名(外国人協力者5名、釜石市国際交流室 2名)



《外国人避難者対応訓練》



《岩手県総合防災訓練 避難所の外国人等受入れ訓練》

ウ 災害時外国人支援の充実、市町村等の取組への支援

(ア) 研修会 災害時外国人サポート研修会～基礎編～

- ・日 時：令和7年11月30日(日) 13:00～15:00
- ・会 場：キオクシア アイーナ会議室602及びオンライン
- ・参 加 者：35名(会場参加 7名、オンライン 28名)
- ・内 容：災害時の外国人支援のために知っておくべき基礎知識(災害に関する理解、外国人とのコミュニケーションのポイント等)についての講義
- ・講 師：防災アドバイザー 越野 修三 氏
岩手大学国際教育センター 教授 松岡 洋子氏

(イ) 研修会 外国人避難者対応講座(ボランティア研修)

- ・日 時：令和7年12月14日(日) 13:00～16:00
- ・会 場：キオクシア アイーナ 会議室501
- ・参 加 者：23名(一般10名、盛岡市・盛岡国際交流協会7名、岩手県国際交流協会6名)
- ・内 容：外国人避難者対応訓練結果をベースにした災害時の外国人とのコミュニケーションに関する講義・ワークショップ
- ・講 師：岩手大学国際教育センター 教授 松岡 洋子 氏

(ウ) 研修会 やさしい日本語講座in田野畑村

- ・日 時：令和7年12月19日(金) 13:00～16:00
- ・会 場：アズビィ楽習センター会議室(田野畑村)
- ・参 加 者：11名
- ・内 容：外国人との効果的なコミュニケーション手段としての「やさしい日本語」の理解と、外国人観光客の避難誘導等を想定した実践練習
- ・講 師：岩手大学国際教育センター 教授 松岡 洋子 氏

エ 語学研修会の開催

(ア) 災害時に外国人を支援するための英語講座(避難者対応編)

- ・日 時：令和7年11月22日(土) 9:30～11:30
- ・場 所：キオクシア アイーナ会議室501
- ・参 加 者：21名
- ・内 容：初動時の外国人避難者対応等における英語対応
- ・委 託 先：合同会社ポリグット J P

(イ) 災害時に外国人を支援するための英語講座(上級者編)

- ・日 時：令和8年1月17日(土) 13:00～15:30 (オンライン)
- ・参 加 者：8名
- ・内 容：心に寄り添う支援の理解と英語対応での実践
- ・委 託 先：合同会社ポリグット J P

オ サポーター等登録状況

区 分	人数	備考
いわて災害時多言語サポーター登録者【旧制度】	17名	
災害時外国人サポーター登録者【新制度】	42名	
計	56名	(重複登録者3名)

⑬施策25 外国人労働者受入体制推進事業(県補助)

外国人労働者の増加を踏まえ、外国人労働者や受入企業等が抱えるニーズや課題の解決に向けた取組を進めるため、市町村国際交流協会等と連携して地域住民に対する外国人労働者の受け入れ理解の促進を図る機会等を創出した。

(地域との交流機会の創出)

市町村や市町村国際交流協会等との連携により、外国人労働者と地域住民との交流機会を創出し、相互理解を進めることで、外国人労働者が地域で活躍できる地域づくりを進めた。

ア 二戸市開催

- ・協働 二戸市国際交流協会
- ・日時 令和7年6月8日(日) 9:00～13:00
- ・会場 稲庭高原パークゴルフ場
- ・参加 実習生11人(インドネシア)
日本語サポーター等13人
- ・内容 パークゴルフ体験を通じて交流を図った。



イ 釜石市開催

- ・協働 釜石日本語教室 桜会
- ・日時 令和7年10月2日(日) 10:00～12:00
- ・会場 青葉ビル研修室
- ・参加 実習生20人(ベトナム、インドネシア)
日本語ボランティア等6人
- ・内容 書道体験を通じて日本語教室で学んだ漢字などの学を深めるとともに、日本文化の理解を図る機会となった。



ウ 遠野市開催

- ・協働 遠野市教育文化振興財団、遠野市「日本語ボランティアグループぽんご」
- ・日時 令和7年10月26日(日) 9:45～14:30
- ・会場 遠野ふるさと村、みやしろ自然農園など
- ・参加 実習生9人(インドネシア、ベトナム、ネパール)
ALT等4人、日本語サポーター等13人
- ・内容 遠野ふるさと村での“庭じまい体験”やリンゴ狩り体験などを通じて交流を図った。

エ 紫波町開催

- ・協働 紫波町国際交流協会
- ・日時 令和7年11月23日(日) 8:45~15:40
- ・会場 長岡果樹生産組合、紫波フルーツパーク、紫波稲荷神社など
- ・参加 特定技能15人(フィリピン)、実習生4人(フィリピン、ベトナム)
中国人配偶者1人、日本語サポーター等6人
- ・内容 リンゴ狩りやピザ作り体験、神社体験などを通じて交流を図った。

オ 大船渡市開催

- ・協働 大船渡市国際交流協会
- ・日時 令和7年12月7日(日) 13:30~15:30
- ・会場 大船渡市防災観光交流センターおおふなぼー
と など
- ・参加 実習生10人(ベトナム、インドネシア、中
国)、ALT1人(フィリピン)、宣教師2人(香
港)、日本語サポーターなど12人
- ・内容 大船渡市総務部防災管理室の職員を講師に、防災学習を通じて交流を図った。



カ 一関市開催

- ・協働 一関市国際交流協会
- ・日時 令和7年12月14日(日) 10:00~12:30
- ・会場 一関市川崎市民センター
- ・参加 実習生20人(フィリピン)、配偶者等13人(フ
ィリピン、中国、韓国)、一般来場者等48人
- ・内容 国紹介ブース(中国、米国、ベトナム、フィ
リピン)における交流とお国自慢料理の試
食、フィリピンの実習生等による交流を図った。



キ 一関市開催

- ・協働 一関市国際交流協会
- ・日時 令和8年1月18日(日) 10:00~11:30
- ・会場 なのはなプラザ2Fにぎわい創造センター
- ・参加 実習生等19人(インド、インドネシア、中
国、フィリピン、アメリカ、南アフリカ、ク
エート)、市国際交流協会ボランティア等41
人
- ・内容 日本文化体験「日本のお正月を楽しもう!」と題して、書道体験・餅つき
体験などを通じて日本文化の理解を深めるとともに交流を図った。



3 次代を担う人づくり

①施策29-2 職業体験の受入れの実施

県内学校等の依頼に応じ、高校生や大学生等を中心にセンター紹介やインタビュー対応を行った。

- ・受入実績 8 校、51 人（前年度 8 校 1 団体、43 人）

依頼先	内容	受入期間	人数
江釣子中学校	センター紹介	令和 7 年 7 月 2 日	5 人
南昌みらい高校	アジアの民族衣装	令和 7 年 7 月 23 日	2 人
南昌みらい高校	センター紹介	令和 7 年 8 月 7 日	2 人
盛岡第一高校	センター紹介	令和 7 年 8 月 18 日	2 人
南昌みらい高校	センター紹介	令和 7 年 10 月 17 日	3 人
盛岡第三高校	センター紹介	令和 7 年 10 月 24 日	2 人
盛岡医療福祉専門学校	センター紹介	令和 7 年 12 月 8 日	9 人
岩手県立大学	センター紹介	令和 7 年 12 月 9 日	1 人
南昌みらい高校	センター紹介	令和 7 年 12 月 17 日	1 人
盛岡大学文学部英語文化学科	センター紹介	令和 8 年 1 月 16 日	13 人
盛岡中央高校 (カナダ出身留学生)	センター紹介	令和 7 年 3 月 12 日	11 人

②施策30 「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業の運営(県委託)

ア 「いわて協創グローバル人材育成プログラム」の実施

地域に貢献するグローバル人材を育成するため、県内大学生等の海外留学を支援した。

- ・派遣学生数：6 人（申請学生数：8 人）
- ・派遣国：フランス、スコットランド、タイ、インドネシア、フィリピン

イ グローバルキャリアフェア及び外国人を対象としたインターンシップの実施

外国人青年や留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するため、キャリアフェア及びインターンシップを実施した。

(ア) グローバルキャリアフェア in 岩手

※（公財）ふるさといわて定住財団との共催で実施

- ・実施日：令和 7 年 12 月 6 日（土）
- ・会場：岩手産業文化センターツガワ未来館アピオ
- ・参加企業：82 社
- ・参加者数：35 名（留学生 31 名、社会人等 4 名）

(イ) 外国人のための県内就職セミナー

- ・実施日：令和 7 年 11 月 1 日（土）
- ・会場：盛岡地域交流センター（マリオス）
- ・参加人数：11 名（外国人 9 名 企業 2 名）

ウ 外国人留学生等を対象としたインターンシップ事業の実施

- ・受入協力企業 2 社
- ・応募者数 1 人
- ・実施実績 1 件



エ 外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業とのワークショップ等の開催

(ア) ワークショップ「外国人と企業の情報交換会」

- ・実施日：令和7年12月2日（火）
- ・会場：盛岡地域交流センター（マリオス）
- ・参加者数：11名（外国人2名、企業等9名）

オ 外国留学生等を対象とした県内企業訪問

- ・実施日：令和7年7月31日（木）
- ・訪問先：（株）大昌電子 岩手工場（一関市）
- ・参加者数：10名（留学生6名、社会人等4名）

③施策31-1 私費外国人留学生支援奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生に月額2万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、当協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職に関するフォーラム等に積極的に参画した。

- ・受給者 8人、国際交流等活動実績 延べ 103件

〔内訳〕岩手大学大学院生3人、岩手大学学部生4人、富士大学学部生1人
（前年度 9人、国際交流等活動実績 延べ 149件）

④施策32 海外研修員等のサポート（県委託）

岩手県委託事業として、岩手県が受け入れる海外自治体職員研修員及び県費留学生の生活上のサポートを行うとともに、南米と岩手を結ぶ関係人口創出事業によるブラジルへの派遣等に係る業務を行った。

ア 海外自治体職員研修員

氏名	派遣元	期間	研修先
丑 朝雨	大連市	令和7年5月～令和8年3月 （5月帰国予定）	県庁商工労働観光部 産業経済交流課

イ 県費留学生

氏名	国籍	期間	留学先
小原 響	パラグアイ	令和7年9月～令和8年3月 （3月24日帰国）	岩手県立大学

（丑 朝雨氏）



（小原 響氏）



ウ 南米と岩手を結ぶ関係人口創出事業派遣等業務

派遣期間	派遣先	派遣者名
令和7年8月25日～9月15日	ブラジル	畠山 委玖重（大学生） 熊谷 悠（社会人）

＜管理部門＞

1 評議員会・理事会等の開催状況

理事会、評議員会、評議員選定委員会等の開催状況は、次のとおりである。

開催日	会議名	会議の概要
令和7年 4月1日(火)	第55回理事会	決議事項（書面表決） 1 常務理事の選任及び報酬月額決定並びに事務局長事務取扱の任命の承認について
5月7日(水)	令和7年度 第1回評議員選 定委員会	決議事項（書面表決） 1 評議員の選任について
6月3日(火)	第56回理事会	決議事項 1 令和6年度事業報告及び附属明細書の承認について 2 令和6年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について 3 定時評議員会の招集について 4 評議員選定委員会の外部委員の選任について
6月24日(火)	第22回評議員会	決議事項 1 令和6年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について 2 理事の選任について
6月24日(火)	第57回理事会	決議事項（書面表決） 1 理事長の選任及び報酬月額決定について 2 常務理事の選任及び報酬月額決定並びに事務局長事務取扱の任命の承認について
11月18日(火)	第58回理事会	決議事項 1 公益財団法人岩手県国際交流協会非常勤職員及び臨時職員就業規則の一部改正について 2 公益財団法人岩手県国際交流協会常勤嘱託職員の取扱いに関する規程の一部改正について事務局規程の一部改正について
11月18日(火)	理事・監事・評議員等合同意見交換会	意見交換事項 1 いわてビジョン2019に掲げる施策の実施状況（令和7年度）について 2 医療に関わる在住外国人支援について
令和8年 1月26日(月)	第2回評議員選 定委員会	決議事項（書面表決） 1 評議員の選任について
3月10日(火)	第23回評議員会	決議事項（書面表決） 1 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について
3月17日(火)	第59回理事会	決議事項 1 令和8年度事業計画書及び収支予算書の作成について 2 県出資等法人に係る中期経営計画書（令和5年度～令和8年度）の時点修正について 3 評議員選定委員会運営規程の一部改正について 4 理事長及び常任理事の報酬月額決定について 5 臨時評議員会の招集について

2 業務執行体制等

(1) 職員の状況

令和7年度末の事務局職員数は、常勤職員11名、非常勤職員1名、非常勤相談員4名（委嘱を含む。）、非常勤補助員5名（委嘱を含む。）である（事務局長事務取扱役員を除く）。

(2) コンプライアンス体制及び職員研修

理事長及び常務理事からの訓示のほかコンプライアンス違反行為等を発見した際の報告先を周知するなど、コンプライアンスを最優先し業務を遂行した。

また、令和8年3月に外部委員1名を加えた「コンプライアンス委員会」を開催し、令和7年度における問題事案の発生はなかった旨を確認した。なお、委員会の結果は理事会に報告している。

職員研修については、自治体国際化協会等の外部研修に参加した。

(3) JICA国際協力推進員の配置

当協会とJICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA東北支部との協定により、令和7年度も協会内にJICAデスクを設置し、国際協力推進員を継続配置した。

3 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

(1) 寄附金の受入れ

26件 1,930,000円の寄附金を受け入れた。

① 一般寄附金

2件 150,000円

② 協賛寄附金

24件 1,780,000円

(2) 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、令和7年4～6月及び10～11月に加入促進キャンペーンを行ったほか、年間を通じて、イベント開催時に賛助会員入会の呼びかけ等を行った。この結果、令和7年度の新規入会は4件となった。

なお、キャンペーンで学生の入会特典を設定するなど若年層の入会に取り組んだが、学生会員の入会は1件であった。

（令和7年度中入退会の状況）

	令和7年 3月末	入 会	退 会		令和8年 3月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	220	3	10	0	213	△7
学生会員	25	1	2	0	24	△1
団体会員	48	0	1	0	47	△1
合 計	293	4	13	0	284	△9

令和 7 年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 8 年 6 月

公益財団法人岩手県国際交流協会